**09.器官系別試験対策１２**

**内分泌・代謝系Ⅱ**

はじめに

もはや恒例化した（？）過去問を担当先生毎に再編集する作業を、夏休み中に行いました。新しい過去問の保管場所「スカイ・ドライブ」も整理が完了しましたので、年度毎の問題が必要な場合はそちらをダウンロードして頂くことになります。

本書では08,07年度に出題された全問題と、06〜01年度に出題された問題の中から08、07年度にも担当している先生の出題問題を掲載しました。

本書の特徴

担当の先生毎に現存する過去問を整理し直しています。

また、複製問題であるため、完全に複製されている問題から問題として成立していないものまで様々でしたので、「完全複製問題」と「部分複製問題」に分類し、部分複製問題の内問題として成立していないものは僭越ながら著者が推測し（メモが存在するものはそれを参考に）復元しています。

**（岡先生範囲）**

**完全複製問題：08年度→1、08年度（再）→2、07,06年度→3、**

**06年度（再）→4、05年度→5、04年度→6**

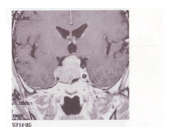
1. **23才女性、１年前から無月経、妊娠反応陰性、子宮卵巣機能正常の為脳神経外科受診。頭部ＭＲＩ造影を示す。誤りはどれか。**
2. **尿崩症を認めない。**
3. **乳汁分泌を認める。**
4. **基礎体温の高温相なし。**
5. **両耳側半盲を認めない。**
6. **エストラジオール上昇を認める。**
7. **末端肥大症でみられる所見について知るところを述べよ。**

**（実際は選択問題だが選択肢再現なし）**

1. 3**6歳、男性。５年前より靴のサイズが合わなくなってきた。最近の健康診断で高血圧を指摘されていたが、特に気にせず放置していた。頭痛がするので、近医を受診したところ、顔貌の変化を指摘された。以下にＭＲＩ所見を示す。**

**この患者で生じないと考えられる所見はどれか。**

1. **糖尿**
2. **舌の萎縮**
3. **下顎の突出**
4. **heel padの肥厚**
5. **発汗**



1. **成長ホルモン産生下垂体腫瘍で見られる外表免状と内分泌学的特徴について知るところを述べよ。**
2. **鞍上部胚腫で起こらないものはどれか。**
3. **肥満**
4. **先端巨大症**
5. **両耳側性半盲**
6. **尿崩症**
7. **低身長**
8. **非機能性下垂体線腫の症状及び画像所見の特徴を述べよ。**

**（岩村先生範囲）**

**完全複製問題：08年度→1、08年度（再）,07,06年度→2、**

**06年度（再）→3、05年度→4 , 5 , 6、04年度→7**

1. **片側の副腎を摘出した時に、術後ホルモン補充療法が必要なのはどれか。**
2. **褐色細胞腫について正しいものはどれか。**
3. **副腎以外からの発生もある。**
4. **良性の腫瘍であるので、転移はしない。**
5. **無症状で発見されることはほとんどない。**
6. **腫瘍の存在診断には、カテーテルによる静脈血サンプリングが必須である。**
7. **膀胱鏡下手術は術中の高血圧を誘発する危険性が高いので、適応にならない。**
8. **以下の問に答えなさい。**
9. **糖尿病の細血管障害の分類を述べよ。**
10. **副甲状腺ホルモンの作用を臓器別に述べよ。**
11. **次のうち先端巨大症の特徴でないものはどれか。**
12. **小舌**
13. **問題不明**
14. **問題不明**
15. **問題不明**
16. **問題不明**
17. **褐色細胞腫で正しいものはどれか。**
18. **循環血液量増加で高血圧**
19. **糖尿病を合併する**
20. **副腎静脈サンプリングを行う**
21. **問題不明**
22. **問題不明**
23. **右副腎腺腫が疑われ、副腎静脈サンプリングを行った。予想される所見はどれか。**
24. **肝静脈の下大静脈流入部**
25. **右腎静脈**
26. **左腎静脈**
27. **左右腎静脈の下大動脈流入部**
28. **全てに当てはまらない**
29. **以下の（　　）に適した語句を記入しなさい。**

**副腎静脈は、右は（　1　）に、左は（　2　）に注ぐ。**

**副腎髄質に原発する腫瘍として（　3　）があり、この腫瘍細胞は（　4　）を産生し、高血圧および（　5　）の減少を来す。手術に際しては（　6　）を用いて血圧をコントロールし（　7　）の是正を行っておく。**

**（　8　）は副腎皮質束状帯の腺腫により生じる疾患で、これは腺腫からの（　9　）の過剰分泌によって引き起こされる。（　10　）により下垂体からの（　11　）の分泌は抑制され、健側副腎の（　12　）が起こる。従って、手術後にはホルモン補充療法が必要となる。**

**（藤田先生範囲）**

**完全複製問題：08,05年度→1、08年度（再）→2、07年度→4 , 5、**

**06,04年度→6、06年度（再）→7 , 8 , 9 , 10、**

**05,04年度（再）→11、04年度（再）→7、03年度→10**

**01,00年度→12**

**部分複製問題：07年度→3**

* **空所補充問題に関しては、藤田先生の講義要旨集から出題されていると思われます。一読しておきましょう。**

1. **甲状腺機能亢進症のうち、（　1　）するものとして、バセドウ病以外には、（　2　）、中毒性多結節性甲状腺腫、ＴＳＨ産生腫瘍、胞状奇胎、悪性絨毛上皮腫、橋本病の一部、甲状腺種の一部があり、（　3　）されるものとして、（　4　）、silent thyroiditis、橋本病の一部がある。バセドウ病の特有の症状として、重要な所見は（　5　）の甲状腺腫で95％の患者に認められる。触診所見では、一般にやわらかく、（　6　）も70％に存在する。眼球突出は病因に関連した症状で約半数の患者に見られるが（　7　）の程度には無関係である。**

**限局性粘液水腫の頻度は少ないが合併すれば（　8　）の有力な根拠となる。我が国特有の症状として（　9　）の合併がある。（　10　）患者の約8％に合併する。**

**１型糖尿病は自己免疫性と（　11　）がある。インスリン治療なしには、（　12　）におちいることが特徴である。若年者の発症が多く、病因としては（　13　）が重要である。発症直後、血清中にラ氏島細胞に対する（　14　）が出現することがある。６番染色体上の（　15　）も、特徴的な遺伝子を示すことが多い。**

**経口血糖下降薬には、インスリン分泌を促進し、血糖値を下降させるものとしてフルオニール系薬と非スルホニル系薬の（　16　）がある。インスリン分泌を ～ 血糖値を低下させるものとして、肝からのブドウ糖放出を抑制するものとして（　17　）がある。インスリン感受性を低下させるものとして（　18　）とビグアイイドなどがある。（　19　）の腸管吸収を抑制するものとして（　20　）がある。**

**ホルモンの作用は（　21　）、（　22　）、（　23　）、（　24　）である。**

1. **１型糖尿病では、自己免疫機序に基づく（　1　）により、膵β細胞が破壊されることにより発症する。**

**β細胞の破壊が進んで（　2　）に陥ることが多く、発病初期には膵島抗原に対する（　3　）が証明される。（　4　）に急激に発症するとされてきたが、あらゆる年齢層に起こりうる。発症以前より（　5　）の証明、ブドウ糖負荷に対する（　6　）の低下が認められる。中には（　7　）が証明されないものがあり、それを（　8　）と呼ぶ。**

**糖尿病性ケトアシドーシスでは前駆症状として（　9　）、（　10　）、（　11　）が見られ、～（以下不明）、悪心、嘔吐、（　12　）が見られる。　（以下不明）～アシドーシスを是正するために（　13　）を呈し、呼気は（　14　）を呈する。体内のケトン体には（　15　）、（　16　）、（　17　）がある。**

1. **空所補充問題**

**テーマ：**

* **ホルモンの作用（生殖、エネルギーの産生・利用・貯蔵etc）**
* **テタニー（低K血症、呼吸性アルカローシスetc）**

1. **糖尿病について以下の問に答えなさい。**
2. **定義**
3. **本邦における推計糖尿病者数**
4. **死因**
5. **成因分類**
6. **von Basedow病について以下の問に簡潔に答えよ。**
7. **疾患概念**
8. **視床下部、下垂体、甲状腺とホルモンの関係**
9. **DM性合併症について知るところを述べよ。**
10. **バセドウ病について概念、組織所見、典型的な臨床症状と検査所見、治療法の概略について述べよ。**
11. **糖尿病性ケトアシドーシスの血液所見について述べよ。**
12. **副腎皮質機能低下症の臨床分類毎に、視床下部CRF、下垂体ACTH、血中コルチゾール、尿中17 OHCSの関係を観血に図示せよ。**
13. **WHO分類において高脂血症Ⅳ型の症状を列挙せよ。**
14. **糖尿病の急性期合併症を挙げ、表を用いて病態を説明せよ。**
15. **以下の（　　）に適した語句を記入しなさい。**

**糖尿病性ケトアシドーシスの前駆症状は（　1　）・（　2　）・（　3　）のほかに、頭痛・悪心・嘔吐・腹痛がある。急激な（　4　）により、体重減少・皮膚と粘膜の乾燥などが現れる。呼吸は代謝性アシドーシスの代償として（　5　）を呈する。**

**血中ケトン体には（　6　）・（　7　）・（　8　）がある。血液pHは（　9　）し、HCO3濃度は（　10　）する。治療としては、（　11　）による脱水と電解質異常の是正、（　12　）による高血糖の是正を行う。**

**糖尿病の慢性合併症には、小血管症として（　13　）・（　14　）、大血管症として（　15　）・（　16　）・（　17　）、その他、糖尿病性神経症や（　18　）がある。**

**（守屋先生範囲）**

**完全複製問題：08年度→1、08年度（再）→2、07年度→3 , 4、06年度→5**

**06,05年度（再）→6、05年度→7、04,99年度→6(1)、**

**04年度（再）→6、02年度→6(1) , 8、02年度（再）→7 , 9**

**01,00年度→10 , 11**

1. **以下の問に答えなさい。**
2. **50歳男性。末端肥大の所見が見られる。①疾患概念　②臨床症状　③検査所見（血液、尿、負荷試験、画像）　④治療、について知るところを述べよ。**
3. **MENⅠに関連する臓器を３つ示せ。**
4. **中枢性尿崩症、プロラクチノーマ、原発性アルドステロン症から１つ選び、概念、症状、検査（尿検査、血液検査、画像検査）、治療について述べよ。**
5. **先端肥大症の①概念　②症状　③検査　④治療についてそれぞれ述べよ。**
6. **原発性アルドステロン症における特徴的な血液所見を3つ挙げよ。**
7. **尿崩症について知るところを述べよ。**
8. **以下の問から１つ選び知るところを述べよ。**
9. **原発性アルドステロン症の概念、症状、検査（血液、尿、画像診断）、治療**
10. **先端肥大症の概念、症状、検査（血液、尿、画像診断）、治療**
11. **SIADHの概念、症状、検査（血液、尿、画像診断）、治療**
12. **中枢性尿崩症の概念、症状、検査（血液、尿、画像診断）、治療**
13. **褐色細胞腫に関し、①疾患概念　②臨床症状　③検査所見（血液・尿所見と画像所見）　④治療について知るところを述べよ。**
14. **蛋白尿のある２型糖尿病の患者がいる。この患者が糖尿病性腎症であることを診断するために必要な条件を列記せよ。**
15. **糖尿病性ケトアシドーシスの特徴所見と必要な検査について述べなさい。**
16. **痛風に関し、①病態　②症状　③身体所見　④発作期と間歇期の治療について知るところを述べよ。**
17. **以下の（　　）に適する語句を記入せよ。**
18. **ビタミンA・Dは（　1　）性ビタミンで、ビタミンD過剰による症状は（　2　）である。ビタミンB・Cは（　3　）性ビタミンで、ビタミンB1の欠乏症は（　4　）、ビタミンB6の欠乏症は（　5　）、ビタミンC欠乏症は（　6　）である。**
19. **冠動脈硬化は（　7　）・（　8　）を、脳動脈硬化は（　9　）を引き起こす。高脂血症の治療はまず（　10　）、高コレステロール血症の治療薬は（　11　）。**

**（斉藤先生範囲）**

**完全複製問題：08,07,06年度→1、08年度（再）→2、05年度→3 , 4**

**05年度→5 , 6**

1. **高血圧、満月様顔貌、中心性肥満をきたす46才の女性がいる。**
2. **どの様な疾患が考えられるか。**
3. **上記以外の特徴を列挙せよ。**
4. **鑑別診断の進行について説明せよ。**
5. **Addison病の症状、検査、治療について知るところを述べよ。**
6. **クッシング症候群の分類を表にして説明せよ。**
7. **下垂体性副腎不全の原因を３つ挙げよ。**
8. **172 cm、69 kgは肥満か、根拠を書いて説明せよ。**
9. **糖質コルチコイドの作用を糖、蛋白、脂肪、水－電解質、についてそれぞれ述べよ。**

**（高田先生範囲）**

**完全複製問題：08,07年度,08年度（再）→1**

1. **以下の（　　）に適切な語句を記入しなさい。**
2. **2007年の脂質異常のガイドラインによると、異常となるのは、LDLは（　1　）、HDLは（　2　）、TGは（　3　）であった。**
3. **家族性高コレステロール血症は（　4　）の異常のために生じるが、これは高脂血症の分類で言うと（　5　）と（　6　）がこれにあたる。**
4. **LDLが（　7　）ほど、HDLが（　8　）ほど、冠血管系の疾患が起こり易くなる。**
5. **日本人の死因は上から、悪性新生物、心血管疾患、脳血管疾患であるが、このうち、心血管疾患、脳血管疾患をあわせると（　9　）％存在する。**
6. **HMG-CoA還元酵素阻害薬は（　10　）の合成を低下させる。すると、肝細胞内の（　11　）不足を補うために、LDLレセプターの発現が促進され、血中のLDLの取り込みが増大し、結果として血中のLDLの低下が起こる。**

**選択肢**

　　　a.低い　b.高い　c.220mg/dl以上　d.220mg/dl以下　e.150mg/dL以上

f.150mg/dl以下　g.140mg/dL以上　h.140mg/dL以下　i.40mg/dL以上

　　 ｊ.40mg/dL以下　k.50　l.30　m.15　n.LPL（リポ蛋白リパーゼ）

　　 o.LDLレセプターの異常　p.Ⅰ型　q.Ⅱa型　r.Ⅱb型　s. Ⅲ型　t.Ⅳ型

　　　u.Ⅴ型　v.コレステロール　w.カイロミクロン

**（田中先生範囲）**

**完全複製問題：08年度→1、08年度（再）→2、07年度→3、06年度→4**

**06年度（再）→5、05年度→6、05年度（再）→1(2) , 7**

**04年度→1(2) , 6(2)、04年度（再）→4 , 8、02年度→9**

**02年度（再）→4 , 9(1)**

1. **以下の問に答えなさい。**
2. **糖尿病の慢性合併症の細小血管障害と大血管障害について概説せよ。**
3. **ビタミンを２つに分類して、その特徴を説明し、それぞれのビタミンを列挙せよ。**
4. **以下の問に答えなさい。**
5. **カルシウムとリンの代謝を臓器別に述べよ。**
6. **肥満の種類を２つ挙げ、その違いを述べよ。**
7. **以下の問に答えなさい。**
8. **内臓脂肪型肥満と皮下脂肪型肥満の違いと、臨床的意義について説明せよ。**
9. **骨、腸管、腎臓におけるカルシウム、リンの代謝について説明せよ。**
10. **低血糖の臨床症状について説明せよ。**
11. **左副腎腺腫の患者にカテーテルによる副腎静脈サンプリングを行なった。予想される検査結果を選べ。**
12. **右腎静脈のアルドステロン値が最も高い。**
13. **左腎静脈のアルドステロン値が最も高い。**
14. **肝静脈近傍の下大静脈のアルドステロン値が最も高い。**
15. **腎静脈近傍の下大静脈尾側のアルドステロン値が最も高い。**
16. **肝静脈近傍の下大静脈頭側のアルドステロン値が最も高い。**
17. **以下の問に答えなさい。**
18. **糖尿病の慢性合併症に関し、病態と症状を記せ。**
19. **PTHの作用機序を作用する臓器毎に述べよ。**
20. **副腎皮質機能低下症の分類について知るところを述べよ。**
21. **ビタミンDの活性化の過程と血中Caとの関連について説明せよ。**
22. **以下の問に答えなさい。**
23. **甲状腺ホルモンが上昇する疾患を３つ列記し、その鑑別診断について書きなさい。**
24. **１型糖尿病と２型糖尿病の病態の違いについて書きなさい。**